

上北民謡民舞発表会



6月25日(日)、上北民謡民舞同友会の発表会が文化会館で行われました。同会は、上都賀北部地域の民謡や民舞の愛好者が集まって13年前に結成。毎年行っている発表会の際に募金を行い、社会福祉協議会などに寄贈しています。

この日は、会に所属する20団体が参加し、日光小唄や足尾石刀節、鬼怒の船頭唄など郷土に伝わる民謡を披露しました。

ハートフルにつこう



平成11年、男女が互いに人権を尊重しつつ、喜びや責任を分かち合い、個性と能力を十分に発揮できる社会の実現を目指して、男女共同参画社会基本法が施行されました。総務省はこれを記念して、平成13年に毎年6月23日から29日までの1週間を男女共同参画週間に指定してい

ます。

市では6月24日(土)、「ハートフルにつこう」と題し、中央公民館で記念事業を開催しました。愛のあふれるまちづくりをテーマにしたシンポジウムが中ホールで行われ、多くの方がパネリストの話に熱心に聴いていました。小ホールでは親子マジック教室が行われ、20組の親子がブロの技に驚きながら、楽しくマジックを学びました。

また、日用品や野菜のチャリティーセールも行われ、売上金はDV(家庭内暴力)などに悩む方を支援している団体に寄付されました。



親子マジック教室。みんな真剣です。

人権の花贈呈式



人権の花の贈呈は、今市人権擁護委員協議会と宇都宮地方法務局今市支局が平成8年から毎年実施している行事です。花を子どもたちが協力して育てることで、感謝することや命の尊さを学び、人権思想をはぐくむことを目的としています。今年も、6月12日(月)に猪倉小学校、28日(水)に栗山小学校に花の苗を寄贈しました。

消防団水防訓練



積み上げた土のうを杭で固定する団員

市内には鬼怒川や大谷川などをはじめとして多くの河川があります。夏から秋にかけては、台風や集中豪雨などによる河川の増水が心配される季節です。消防団では、台風シーズンを前に毎年水防訓練を行っています。今年も7月2日(日)、板穴川の河川敷で河川のはらんを想定して水防工法の訓練を行いました。訓練には、今市消防団第

3分団の団員72名と消防職員6名が参加。水防訓練に使用する杭や土のうの作成、土のう積みなどを行いました。第3分団長の岡本克己さんは、「大きな河川もあるので、水防訓練は必要です。実際に訓練しておかないと、頭では理解していてもいざという時にうまくできません」と訓練で汗を流しながら話していました。